

第9回会議 **報告事項** 別紙

西伯町・会見町合併協議会

平成15年8月5日

新町名称に関する参考事項

候補番号	名前	読み	参考事項
1	会桜町	あいおうちょう	類似名称として、徳島県那賀郡相生(あいおい)町、山口県秋穂(あいお)町
2	あいさい町	あいさいちょう	
3	愛彩町	あいさいちょう	
4	会西町	あいさいちょう	
5	会伯町	あいはくちょう	
6	会見郷町	あいみごうりちょう	
7	会見町	あいみちょう	旧郡名。
8	あいみ町	あいみちょう	
9	会見七郷町	あいみななごちょう	
10	愛花里町	あかりちょう	
11	桜柿町	おうかきちょう	
12	桜柿町	おうがきちょう	
13	桜花町	おうかちょう	地名としては、情報なし。ほかに、第2次世界大戦中、大日本帝国海軍が、人間爆弾「桜花」を実戦に使用。
14	桜柿町	おうしちょう	
15	柿桜町	かきざくらちょう	
16	神桜町	かみざくらちょう	
17	さいあい町	さいあいちょう	
18	最愛町	さいあいちょう	
19	西会町	さいあいちょう	
20	さいかい町	さいかいちょう	同音の町として、長崎県西彼杵(にしそのぎ)郡西海町
21	西会町	さいかいちょう	同音の町として、長崎県西彼杵(にしそのぎ)郡西海町
22	西伯町	さいはくちょう	
23	さいはく町	さいはくちょう	
24	西見町	さいみちょう	
25	桜柿町	さくらがきちょう	
26	桜町	さくらちょう	市区町村名としては情報なし。市区の町名としては、茨城県土浦市桜町、福井県鯖江市桜町など。
27	桜見町	さくらみちょう	市区町村名としては情報なし。市区の町名としては、愛知県名古屋市瑞穂区桜見町。
28	柿桜町	しおうちょう	
29	七郷町	しちごうちょう	
30	神桜町	しんおうちょう	
31	西部町	せいぶちょう	
32	南郷町	なんごうちょう	
33	南西町	なんせいちょう	
34	南部町	なんぶちょう	市区町村名として、青森県三戸郡南部町(なんぶまち)、山梨県南巨摩郡南部町(なんぶちょう)、和歌山県日高郡南部町(みなべちょう)、市区の町名として山口県下関市南部町(なんぶちょう)。

新町名称に関する参考事項

候補番号	名前	読み	参考事項
35	南部町	なんぶまち	市区町村名として、青森県三戸郡南部町(なんぶまち)、山梨県南巨摩郡南部町(なんぶちょう)、和歌山県日高郡南部町(みなべちょう)、市区の町名として山口県下関市南部町(なんぶちょう)。
36	西会見町	にしあいみまち	
37	虹花町	にじはなちょう	
38	西伯耆町	にしほうきちょう	市区町村名としては情報なし。市区の町名として、一部類似で京都市伏見区伯耆町。
39	西伯耆町	にしほうきまち	市区町村名としては情報なし。市区の町名として、一部類似で京都市伏見区伯耆町。
40	西見町	にしみちょう	
41	はくあい町	はくあいちょう	
42	伯会町	はくあいちょう	
43	伯南町	はくなんちょう	日南町の一部の旧町名。現在の霞、宮内(以上旧日野上村)及び茶屋、笠木、福寿実、福万来、佐木谷(以上旧山上村)
44	伯見町	はくみちょう	
45	花咲町	はなさきちょう	
46	花郷町	はなさとちょう	
47	花見町	はなみちょう	一部類似として、山形県南陽市赤湯花見町。
48	平成町	へいせいちょう	
49	ほうき町	ほうきちょう	市区町村名としては情報なし。市区の町名として、一部類似で京都市伏見区伯耆町。
50	伯耆町	ほうきちょう	市区町村名としては情報なし。市区の町名として、一部類似で京都市伏見区伯耆町。
51	伯耆南町	ほうきみなみちょう	
52	美咲町	みさきちょう	
53	美郷町	みさとちょう	同じ音の市区町村名として、埼玉県三郷市、徳島県麻植(おえ)郡美郷村、和歌山県海草郡美里町
54	美里町	みさとちょう	同じ音の市区町村名として、埼玉県三郷市、徳島県麻植(おえ)郡美郷村、和歌山県海草郡美里町
55	美蕾町	みらいちょう	
56	美緑町	みりょくちょう	
57	夢見町	ゆめみちょう	
58	陽和町	ようわちょう	
59	梨桜町	りおうちょう	
60	緑水町	りょくすいちょう	
61	緑南町	りょくなんちょう	類似名称として、香川県綾歌郡綾南町

新町名称募集(名前を付けた理由)

候補番号	名前	読み方	この名前をつけた理由
1	会桜町	あいおうちょう	桜に会える町 会見町の会と西伯町の桜 会見町の会と西伯町の桜をつかう
2	あいさい町	あいさいちょう	町お愛する意味お込め。女性にも妻にも地域社会で活躍出来ることお願い付けました。 会見町と西伯町が合併したらどっちも「い」がつくからこれにした 会見町のあい、西伯町のさいで、愛妻に通じる温かい漢字 西伯と会見をくっつけた 町をあいし、人をあいする町 西伯町と会見町の頭文字 会見と西伯を残した。又読み方もやわらかい感じである。発音しやすい。 両町の頭文字をもじって、愛妻をひらがなで、妻を愛するその地域は愛が一杯？ 普段あまり愛妻のような事はしていませんが、家庭を大事に、住民を大切にと言う思いを込めて
3	愛彩町	あいさいちょう	あいみ町民・さいはく町民が、一緒になっていとしい町を作れることを願って 「愛」で彩る町。「愛」= 会見町の頭文字の「アイ」の読みを使用。「彩」= 西伯町の頭文字の「サイ」の読みを使用。住民の「町(まち)」への「愛」、いろいろな「愛」(福祉の「愛」、医療の「愛」、奉仕の「愛」、教育の「愛」など)で彩られた、「愛」に溢れた町。会見町と西伯町とが合併して、誰からも愛される町を目指す。(×2)
4	会西町	あいさいちょう	会見町と西伯町の頭文字と愛妻の語呂を合わせました 会見・西伯の頭文字を取った。旧会見郡の西の町。愛妻で円満な家庭 男女共同参画の町 会見の会、西伯の西でなる 西伯町と会見町から一字ずつとってつけました。会西町の字は町名からですが、その中には愛妻という意味もイメージしてもらえるのではないのでしょうか 小さな町でも皆でたすけあいの町 会見+西伯 かしら文字をとったから 愛妻につながり町おこしを願う 会見郡の西部の意 よい町にするために 両町の字を組み合わせ 両方の名前をとってつけた 西の端の両町が出会い一つの町となる

新町名称募集(名前を付けた理由)

候補番号	名前	読み方	この名前をつけた理由
5	会伯町	あいはくちょう	2つがいっしょになるから 「会見町」と「西伯町」を合体したら「会伯町」になるから 会見町西伯町がなかよくできるように 会見町の会と西伯町の伯。いーと思う 一番にあってる！！ 会見町と西伯町だから ふたつの町名をとった 会見の会と西伯の伯 理由はとくになし 会見の会と西伯の伯をつけたした 漢字にすると両方2文字なんで一文字ずつ取りました 西伯と会見が一つに
6	会見郷町	あいみごうりちょう	以前より呼んでいた地名です
7	会見町	あいみちょう	会見郷里など、古くから残っている地名なので残しておきたい むかしからこころへんは会見ごうりとよばれていたから かえたくないから 会見町が好きだから 合併せんでほしい。するなら米子市としたほうがいいと思う 会見町が忘れられない がっぺいしたくないから やっぱり自分の町の名前を替えたくない ない このままでいいからです やっぱりこれがいいから 会見町みんだから会見町としました あんまりかえたくなかった…

新町名称募集(名前を付けた理由)

候補番号	名前	読み方	この名前をつけた理由
8	あいみ町	あいみちょう	歴史的な会見郡を残す かつて今の西伯・会見を含めた県西部が広く、会見郡と呼ばれていた。これをひらがなにしたい。 古来から会見郡という土地だから 昔からの会見ごうりの町だから 昔、米子市を含めて会見(相見)郡と呼んでいたため、将来の合併も含めて昔に戻しては 柿の種とばしで知られているのではと思う割には、県外の方は「会見の読み方がわからない」のでひらがなでわかりやすいと思 昔あいみ郡といわれていたのでつけました 会見郡を残す 歴史上相見郡が西部一円であった 古来西伯町会見町は会見郡と呼ばれていた 古代史に町名があがっている点に着目し、もう一度原点に戻っての国づくり、町づくりを目指したいという願いから したしみやすく、皆に愛される名前だから
9	会見七郷町	あいみなごち	昔の会見郡と旧七ヶ村で出来た西伯郡の南部谷に出来る町、西伯町と会見町共に立派な町作りをお願いします
10	愛花里町	あかりちょう	「ゆうらく」を代表とする福祉の町はイコール「愛の町」、また両町は「桜」「花回廊」と花が溢れているふる里でもある。新しい町の未来を照らすのは「あかり」。「あ」が始まる名前はアイウエオ順でもアルファベット順でも最初で好いのでは？
11	桜柿町	おうかきちょう	西伯町は桜。あいみは柿がゆうめいだから。 西伯町が桜の町会見町が柿合併して
12	桜柿町	おうがきちょう	西伯町は桜がゆうめいで、会見町は柿がゆうめいなので、桜柿町にしました 西伯町はさくら、会見町はかきが有名だから 西伯町 桜、会見町 柿を全国にアピールする為 西伯町は桜、会見町は柿が有名だから 西伯はさくら会見はかきがゆうめいだから
13	桜花町	おうかちょう	桜の美しい西伯町と花回廊の会見町を合わせてみた 西伯町は桜がゆうめい、会見町は花回廊がゆうめいだから桜花町 西伯は桜が名所で会見は花回廊がある。 花やとくに桜が有名だから 西伯の「桜」、会見の「花回廊」より 西伯町の桜と会見町のフラワーパークの花を合体
14	桜柿町	おうしちょう	桜と柿がゆうめいだから。
15	柿桜町	かきざくらちょう	西伯町は桜がゆうめい、会見町は柿がゆうめい 会見は柿、西伯は桜が特徴的だから 会見町の柿と西伯町の桜で「柿桜」にしました。2つとも有名(?)だから 会見町の柿、西伯町の桜でつけました 会見町 柿(おいしい)、西伯町 桜(きれい)
16	神桜町	かみざくらちょう	会見町で有名な神話と神と西伯町の桜をとって

新町名称募集(名前を付けた理由)

候補番号	名前	読み方	この名前をつけた理由
17	さいあい町	さいあいちょう	<p>さいはくちょうとあいみちょうの頭を取って合わせ最愛の意味を込めてこの町を、この町の住民を愛するようにと願いを込めて。西伯町と会見町の名前を残しながら、漢字をあえて使わないで最愛な町として町民のみなさんに親しまれると共に、ふるさとを意識して回帰したい町をイメージした名前として考えました。</p> <p>西伯・会見町民がお互いに愛する良い町づくりを祈る</p> <p>最大に愛するふるさとを目指す</p> <p>両町の頭文字を合わせて、やさしいひびきのある呼び名</p> <p>西伯町のさいと会見町のあいですが、「さいあい」は最愛に通じ、両町を愛する心!</p> <p>互いの頭文字一文字ずつの音読みです。「最愛」の意味を込めている。「最愛」だから一緒となれたし、「幸(さい)・愛(あい)」の住む町とえりますようにの祈りも。</p> <p>(最愛)(再逢)みんなが最も愛し、再び巡り合う町</p> <p>西伯の「さい」会見の「あい」そして最愛の町となるよう</p> <p>両町にまっち</p> <p>西伯町のさいと会見町のあいをとって、全国の人々に愛される町</p> <p>希望を与える様な新しい町</p> <p>ひらがなのあたたかさ、どちらの名前も残したい最愛の意味もかねる</p> <p>さいはくの「さい」とあいみの「あい」で「さいあい」最も愛する町</p> <p>西伯町と会見町の頭文字をとりました</p> <p>2つの町の名前を合わせてみんながすきな町にあるために</p> <p>西伯町と会見町が仲良くお互いに思いやりを大切に</p> <p>西伯と会見を残し、やさしい感じである</p> <p>最愛を意味するとともに、西と会を忘れないように。癒しの21世紀の新町</p> <p>西伯町の西と会見町の会をとってつけました</p> <p>「西」伯町「幸」「会」見町「会」</p> <p>皆さんから愛され親しまれるまちになるように、また、再び会えるように(最愛、再会)</p> <p>西伯町と会見町が合併するから</p> <p>西伯町と会見町の頭文字を取って</p> <p>両町の頭文字から郷土を愛する最愛なる町</p>

新町名称募集(名前を付けた理由)

候補番号	名前	読み方	この名前をつけた理由
18	最愛町	さいあいちょう	<p>もっともあいする町になる様に (西伯と会見の上の字をとって)</p> <p>西伯の"西"と会見の"会"に最愛という字をあてました。全国から最愛の文字が入った記念の物を手に入れるため人が集まりしよ</p> <p>西伯町のサイ会見町のアイを取り世界で最も愛する町の意</p> <p>西伯町のさい・会見町のあい、それぞれ最初の二文字を別の漢字で結びました。最高の愛情で結ばれた両町の発展を願うもの</p> <p>みんなが明るくすごせるように</p> <p>いろんな人に好かれる町という意味で</p> <p>西伯の(さい)会見の(あい)をとって字をあてた(最も愛する町となるように)</p> <p>西伯町の西と会見町の会の読み方で字を替えてあてはめた</p> <p>西伯のさいと会見のあいをとり最愛としました。誰からも愛し愛される町にしたいと思います</p> <p>新しく出来る町を皆が愛し、また愛せる町となるように、西 最に会 愛に二町の頭文字を変えてつけました</p> <p>誰もが自分の町として愛し続けられるように</p>

新町名称募集(名前を付けた理由)

候補番号	名前	読み方	この名前をつけた理由
19	西会町	さいあいちょう	<p>県西部2町会依り出来た町 会見町の方には申し訳ないですが、西伯町の方が人口が多いので、西伯の西を上につけさせてもらいました 西部の町として又会いたい希望の町として 西伯と会見を平等にした お互い助け合い真心を持って新町の為町民いちがんとって進むために 西伯町と会見町の頭文字を取る 西伯町の西と会見町の会をつなぎ合わせて、町と町の合体を意味する。 単に頭文字を取ったのですが、今名古屋なので西でみんなに会うまち。歴史的に「西伯」と「会見」は哀切にしたい固有名詞だと 西伯町と会見町をあわせただけ 両町のよいところをとり幸せな明るい町づくりをねがって西会町を選びました 現在親しまれている両町名から一字ずつ取り、新町名にしたい 西伯町と会見町の頭文字を取って付けました 両町のイメージ 最も愛する町、県の西部で会う町 なんとなく(×2) 西伯町と会見町が出遭いの町だから 西伯町の「西」と会見町の「会」をとったもの 西伯町会見町のかしらもじて 両町の字をあわせて 何百年後においてもその昔西伯町、会見町とが合併してその頭文字から判断できる為 西伯町会見町の文字をひとつづつあわせて2つの町が仲良くできるよう 西伯町の「西」と会見町の「会」を仲良く組み合わせた 旧町名の一部を残し、県西部を表すと共に新しい出会いと発展を願い愛着(さいあい)のある町 西伯町と会見町を残したい 両町を大事にしたいから 両町から一文字ずつ取りました 西伯町と会見町の名をどうしても残したい。 「西」伯+「会」見 西伯の西と会見の会をあわせてみた。</p>
20	さいかい町	さいかいちょう	<p>希望を与える様なまえ 西伯・会見町の各一時で西会…再会を思っつけました。いろんな人に出会える、開かれた町であって欲しい</p>

新町名称募集(名前を付けた理由)

候補番号	名前	読み方	この名前をつけた理由
21	西会町	さいかいちょう	両町から一文字ずつ ・西伯町と会見町と合併した記録。・町外から町に来られた方には、再会できる。・大学などで都会に出てもまた帰ってきて再会で 富有の里のイメージより 西は「再」の幾度でも再会して仲良く暮らす為の表現です 合併前2町の頭文字使用 西伯町と会見町の一字を残すことと、再会に因むことで全国にPRできると思います。人と人との出会いの場所を花回廊、緑水園 等々で提供し皆さんに「再会」していただきたい。
22	西伯町	さいはくちょう	合併後も西伯町という現在の町名をつけたから。 伯耆・因幡の国名が残り、全国的に通り易い(西伯郡内) 変える必要はないと思うので、人口の多い西伯町にした そのままのほうがいいから これ以外に無い 今までの名前がよいため会見との人口をくらべると西伯の方が多いため 西伯郡の次に大きなイメージは西伯町ですから 今の町名に愛着があるので
23	さいはく町	さいはくちょう	今の西伯・会見を含む西の伯耆は郡名「西伯」で現れており、合併で新たな出発に際し、ひらがなとしたい 西伯郡の中で「西伯」と言う名前が消えない様に平仮名にしてはと思います 「さいはく」の「さい」の音のなかに、両町のsaとaiがあり、合併の音を込めた。
24	西見町	さいみちょう	頭文字を使いたかったが、語呂が悪いので西伯、会見を取った。どうかな 富有の里のイメージより なんとなくにあいそうだから 両町から1づつとった 戦後の合併で付けられたそれぞれの町名を一字づつ取り入れた
25	桜柿町	さくらがきちょう	両町の名物だから(桜が先に咲くので、桜を上につけました) それぞれの町の名所・名物だから 西伯町は桜、会見町は柿だから、それをくっつけた 西伯町は桜が有名？で、会見町は柿が有名だから 両方の名産をとって。 西伯町の有名な桜と、会見町の有名な柿をくっつけて、すぐ分かる様に！ 西伯町の桜、会見町の柿から名付けた

新町名称募集(名前を付けた理由)

候補番号	名前	読み方	この名前をつけた理由
26	桜町	さくらちょう	<p>さくらがきれいだから</p> <p>桜の道があるから</p> <p>桜がよくにあうから</p> <p>美しい自然がいっぱいの町のイメージに合うと思いました</p> <p>しぜんがたくさんあるので</p> <p>桜の名所だから全国にアピールできると思った</p> <p>喜び、希望のイメージで</p>
27	桜見町	さくらみちょう	<p>西伯の「さくら」と会見の「見」を取り、桜見町とつけました</p> <p>西伯町の花の桜と会見町の見を取って。桜のように綺麗な明るい町になるように。響きも綺麗な名前だと思います。</p> <p>西伯町の名物桜と会見町の見を合体させました</p> <p>西伯町の桜と会見町の見を合わせたもの</p> <p>西伯町はとても桜がきれいで「桜」に会見と花見の「見」をつけた。</p> <p>西伯町のさくらと会見の見をとった！西伯町はさくらがきれいだから</p> <p>西伯は、さくらがきれいだから桜で会見から見をとって。</p> <p>さくらが見えるから</p> <p>西伯町の象徴である桜の花と会見町の一字から命名しました。自然の美しい西伯町と会見町にふさわしく、また響きもよく、併せて2つの町が合併して一つのイベントになる名前と考えてつけました</p> <p>会見の「見」と西伯町の桜がきれいらしいから</p> <p>会見町と西伯町の桜</p> <p>西伯町の花桜と会見町の見を取って両町の名前にふさわしいと思った</p>
28	柿桜町	しおうちょう	<p>西伯は桜が有名で柿が有名な会見という事で</p> <p>会見町は柿、西伯町は桜というイメージがあるから</p>
29	七郷町	しちごうちょう	七つの村が集まったから
30	神桜町	しんおうちょう	神話の町会見町と西伯町の桜を結びました
31	西部町	せいぶちょう	<p>鳥取県で一番西部の町で字も書きやすい</p> <p>鳥取県の西部地方だから</p> <p>鳥取県の西部だから</p>
32	南郷町	なんごうちょう	南部地区の「南」は残したい。古代三「郷」(鴨部、天万、星川)をもって成立
33	南西町	なんせいちょう	鳥取県南西部に位置し、南部地区の南と西伯の西で、南西とした。読みやすく、言いやすい。

新町名称募集(名前を付けた理由)

候補番号	名前	読み方	この名前をつけた理由
34	南部町	なんぶちょう	両町にゆかりがあり、両方の住民から公平と言われるように 昔から西伯と会見の両谷を南部と総称していた 以前からこの地方を「なんぶ」と呼んでいた 西伯郡の南部に位置する地域で有る 西伯と会見を昔なんぶとってたきがする 会見町西伯町は前から南部地方と呼ばれていた なんとなく 気分的に 何気に 合併以前の西伯郡の各地区(西伯・会見は南部地域) 西伯、会見は南部地区内であり又中学校は南部中学校となっている 地域名から考案した。(例:南部みのかや地区……)全国に南部町は、山梨・青森に2ヶ所
35	南部町	なんぶまち	(記載なし)
36	西会見町	にしあいみまち	鳥取県の会見郡の一番西に位置するので
37	虹花町	にじはなちょう	新町が七色の虹の美しさと素晴らしい輝きを発想しました
38	西伯耆町	にしほうきちょう	昔鳥取県中西部は伯耆と呼ばれていて、西伯町が一番西にある町だから 明治時代迄西伯耆とっていた 昔伯耆の西部 伯耆の国の西側に位置する 古の国名「伯耆」に因み、歴史的地名を尊重するとともに、伯耆の西部に位置するを以って町名とした 伯耆地方の西側に出来る町 (旧国名地図を見て)ゆかりある地名ということで…
39	西伯耆町	にしほうきまち	1.地勢的に合致するから。2.伯耆という地名に愛着があるから。3.「伯耆」は将来米子市の改称候補に上がるでしょうから先取り感が出ます。4.奇抜な名称はなじむのも時間がかかるし、地名の歴史観は外せないと思うから。5.会見町の方も感情的に許せる名称かと...(これは余計な事でした)6.他市町村にも覚えていただきやすいかと思います。7.最後に「西伯耆」は現在のパソコンの標準変換でも一発変換できるから ちなみに「湯梨浜」はできません(笑) でもこれは意外と大きいポイントではないかと思えます 旧伯耆の西にある 伯耆の国の一番西側で、一番繁栄してほしいから

新町名称募集(名前を付けた理由)

候補番号	名前	読み方	この名前をつけた理由
40	西見町	にしみちょう	<p>西伯町と会見町を忘れないでほしいから、両町のどちらかの文字をとってつくった。</p> <p>西伯町の「西」と会見町の「見」を合わせた</p> <p>地域が合併するから、町名一部をくっつけた。西にしか見られない物があるから</p> <p>合併するなら町の名前を合わせりそうだから</p> <p>西伯の西に会見の見をがったいしたから</p> <p>パッと頭に思いついたから</p> <p>会見町と西伯町が合併したから</p>
41	はくあい町	はくあいちょう	<p>西伯町の伯(博)と会見町の会(愛)をとり博愛の町として再生出発する願いをこめて</p> <p>競争社会から協調の社会へ、博愛の精神で。「はく」は、西伯の(伯)はく。「あい」は、会見の(会)あい。</p> <p>西伯の伯、会見の会をひらがなで</p>
42	伯会町	はくあいちょう	<p>西伯の人も会見の人も仲良くなれるように</p> <p>現在の町名を一字づつ使用、また心は博愛の精神です。愛が広くゆきわたる</p> <p>さいはく町のはくとあいみちょうの会をとってはくあい</p> <p>覚えやすいし、呼びやすい。なんとなく親しみがある。ちがう町から来た人でもすぐ覚えられると思う</p> <p>西伯の伯と会見の会をとってつけました</p> <p>西伯町、会見町の一字を取って</p> <p>西伯の伯と会見の会を合わせました</p> <p>西伯町の「伯」と会見町の「会」をあわせて「博愛」の精神に通づるところから</p> <p>「西伯町」と「会見町」が、合併するのだから、名前も両方の町の名前から半分ずつとって「伯会町」が良いと思ったから</p> <p>兄弟の仲で兄が長となる。統率者(かしら)となる。父母の弟姉は叔父・叔母、父母の兄姉は伯父・伯母となる一芸に長じる者を画伯・詩伯という。伯耆の国、因伯などの略。</p> <p>会見町と西伯町だから</p> <p>なんとなく</p> <p>なんとなく思いついた</p> <p>2つの町の名前をのこしたかった</p> <p>1文字ずつとったらそうなったから</p> <p>西伯町と会見町から1文字ずつと</p> <p>両町の名前からとった</p> <p>両町会見、西伯の一字を使った、いいひびき</p> <p>現町名の一字をとって語呂あわせ(博愛)よく名付けた</p> <p>自然豊かな博愛の精神で</p>
43	伯南町	はくなんちょう	<p>伯耆の国の南の方にあるから</p>

新町名称募集(名前を付けた理由)

候補番号	名前	読み方	この名前をつけた理由
44	伯見町	はくみちょう	<p>仲よく楽しくできて、呼びやすいようにと思ったから。</p> <p>それぞれの町の文字をつけたかったから</p> <p>会見町の見と西伯町の伯で伯見町がにあってるから</p> <p>会見と西伯の終わりの字をつけあわせて</p> <p>会見町と西伯町をくっつけた</p> <p>合併で、2つの町の名前をけしたくないからです</p>
45	花咲町	はなさきちょう	<p>花回ろうや桜などたくさんあるから</p> <p>両町とも花を名所としているから</p> <p>会見町はフラワーパーク西伯町は桜両町とも花で有名</p> <p>西伯町は桜、一式飾り、会見町はフラワーパークがあり、花で有名にしたい</p>
46	花郷町	はなさとちょう	<p>会見町にはとっとり花回廊もあるし、町が花いっぱい平和で明るい町になったらいいなと思いました</p>
47	花見町	はなみちょう	<p>新町名へのヒント 山陰地方・鳥取県西部に位置する町の活性化を展望するとき、町内 や近隣に花を大事にする施設や場所が多いことに気づく。 遠く故郷を想うとき、友人に町を紹介するとき、将来観光を誘致するとき、わかり易く美しい町をイメージできる。 § コンセプト 将来に亘りふるさとの田・畑・山を大事にする町民一人ひとりが、日々の活動の中で、新町名にふさわしい明るい町づくりに貢献することができる。 § 将来への展望 既存の沿道の桜や、沿道の花壇づくりなど四季を通じて老若男女誰にでも参加のできる町興し活動ができる。 鳥取花回廊を中心に山陰地方の花の町として内外にアピールすることができる。 花の町イメージが定着すれば、花見イベントなど企画行事の推進で 間接的な経済効果も期待できる。(×2)</p> <p>両町とも花に緑が多いこと(桜の西伯、花回廊の会見)</p> <p>花がいっぱいみれる町だから!!会見 花回廊、西伯 桜</p> <p>西伯町のきれいな桜の「花」と会見町の「見」をとってつけました。</p> <p>西伯町の桜と会見町の花回廊の花を見にいこうみたいなピーアールもかねて</p> <p>四季折々の花が咲き誇る町をめざす</p> <p>フラワーパークがあるからもっと花を見てほしい</p>
48	平成町	へいせいちょう	<p>会見町と西伯町が平和な世界に成ることを望んで</p>
49	ほうき町	ほうきちょう	<p>伯耆大山の美しい正面の姿からです</p>

新町名称募集(名前を付けた理由)

候補番号	名前	読み方	この名前をつけた理由
50	伯耆町	ほうきちょう	西伯・会見の旧地名 昔は伯耆の国と呼んでいた 昔にかえって 伯耆の国にちなんでつけました 西伯町、会見町は伯耆の国と云われていたから 歴史的に有名だから ホウキの国と昔々云っていたから 伯耆の国にちなんで 旧国名を残したい 昔からこの地をほうきとよんでいたいい名である 鳥取県西部地方のことをいう昔の国名で、この地域を代表する町になってほしいという思いを込めて
51	伯耆南町	ほうきみなみち	伯耆の国の南の方にあるから
52	美咲町	みさきちょう	会見にはフラワーパークがあり、西伯には桜が咲き乱れ、二つの町の合併により町民に笑顔の花が咲く。そんな夢を込めて。 「咲」は「さいはく」の「さ」と「く」とり、漢字は法勝寺の桜の花や、とっとり花回廊の花が咲いた風景をイメージできる事を表し、 「美」は「あいみ」の「み」とり、花が一杯で自然豊かな緑の美しさを表現しています。「さくみ町」を最初に考えたのですが、語呂から言うと漢字を逆にした「みさき町」がいいのかと思います。
53	美郷町	みさとちょう	美しいさと
54	美里町	みさとちょう	会見町 & 西伯町とも他市町村にない麗しと自然の美しいNO.1の里である 美しい町でありたいから 新しい町は緑美しく自然の幸多い山里である 色々な意味を含めて美しい里でありたいと思考えた
55	美蕾町	みらいちょう	西伯の桜、会見の梨、美しい蕾が開花し結実する
56	美緑町	みりょくちょう	緑が美しい自然豊かな町を表しております 西伯町にも会見町にも共通する美しい緑の魅了ある町 西伯町を代表する緑水湖の緑と会見町の見(ミ)を美に変えて緑豊かな美しい町自然との共生、大切な環境を守る町
57	夢見町	ゆめみちょう	西伯町はふくしの町だし、桜などもあるので、他の町から来た人が幸せで夢の中のような気分になるように
58	陽和町	ようわちょう	「陽」は高く明るいところの意味で、新町の地理・地勢を表す。「和」はなごむの意味で、新町において町民がなごやかに暮らす様を表す。熟語としての「陽和」は、仁政があまねく行きわたることのたとえで、住民本位の行政が行われる様を表す。これらの意を通じて、新町の未来像を表す名称である

新町名称募集(名前を付けた理由)

候補番号	名前	読み方	この名前をつけた理由
59	梨桜町	りおうちょう	会見は梨、西伯は桜
60	緑水町	りょくすいちょう	西伯・会見の名勝地 緑ゆたかにして水清き里……緑水湖もあり イメージがきれいだから 緑と水 賀祥ダム人造湖の名前から。また、西伯の特産品である山菜や、会見の梨、柿も緑ときれいな水があればこそだと思います。さらに、両町の場所からも発想しました。 自然豊かだから
61	緑南町	りよくなんちょう	両町が自然の緑に囲まれ、また鳥取県では南部の町であるため